

2023年10月吉日

日本観光学会 会員各位

日本観光学会第116回全国大会
大会実行委員長
角本伸晃(実践女子大学)

日本観光学会第116回全国大会
ご案内と研究報告者の募集について(第1.5報)

*** シンポジウムの内容を追加しました。**

**** 参加申込みは <https://forms.gle/Kt6cganKRy6GsoLG9>**

要旨集掲載用原稿ファイルは conference@kankoga.or.jp

謹啓

春陽の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本観光学会第116回全国大会を実践女子大学渋谷キャンパスにおいて開催することになりました。総合観光学会と合流後の最初の祈念すべき大会でもあります。つきましては、下記の要領にて研究報告を募集いたしますので奮ってご応募いただき、また大会へのご参加をお願い申し上げます。

現在の所、対面開催の予定ですが、感染症の流行の状況によっては Zoom によるオンライン開催となる場合がありますので、日本観光学会ホームページ上の情報にご注意ください。

末筆ながら皆様方の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

謹白

記

<大会テーマ> ポスト・コロナの観光—課題と展望—

<開催日時> 2023年11月4日(土)～11月5日(日)

<開催場所> 実践女子大学 渋谷キャンパス

〒150-8538 東京都渋谷区東 1-1-49

<シンポジウム> 2023年11月4日 14:00～16:00

基調講演(60分): ポスト・コロナの観光-課題と展望-

① 日本政府観光局(JNTO)企画総室長 平野達也 様

「インバウンドの動向と訪日外国人の欲する観光情報」

② アパグループ専務 元谷 拓 様

「ホテル業から見た最近の観光動向と今後の課題」

③ 佐野市観光推進課参事(佐野市観光協会派遣) 吉田直生 様

「佐野市のDMOの取組と今後の課題」

パネルディスカッション(60分):

大江靖雄日本観光学会会長がコーディネーターを勤め、講演者の方3名と今後の観光の展望について、忌憚のないご意見を交わしていただく。

<大会参加費> 2,000円(準会員 1,000円)

※下記の共催により実践女子大学から支援があるので、通常より抑えることができました。

<懇親会> 現時点では懇親会の開催の有無は未定ですが、状況が許せば、開催したいと考えています。その場合の会費は3,000円(準会員 2,000円)を想定しています。

懇親会の有無は第二報でご連絡する予定ですが、次頁の参加申し込みフォームには開催される想定で懇親会への参加の有無を回答してください。

※大会参加費等は、大会当日に受付にてお支払いください。

※オンライン開催になった場合は、大会参加費は無料です。

<共催> 実践女子大学「観光経済経営研究所」(プロジェクト研究)

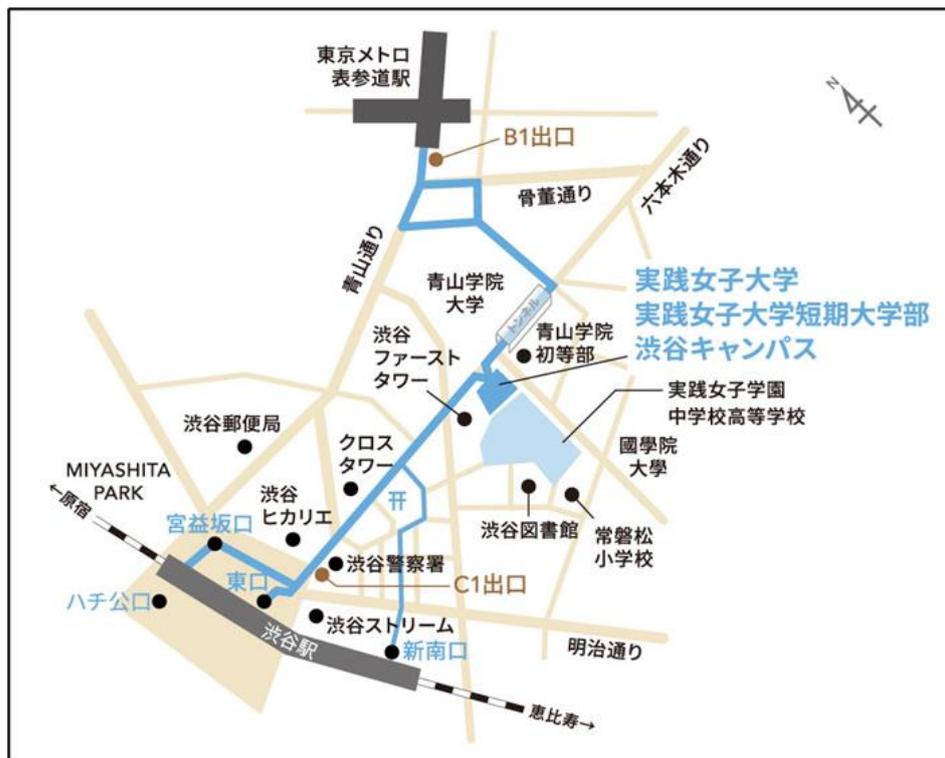
<アクセス>

【渋谷駅から】

- ◆ JR(山手線、埼京線、湘南新宿ライン) / 東京メトロ(銀座線、半蔵門線、副都心線)、東急(東横線、田園都市線)、京王井の頭線 東口 C1 出口から徒歩約 10 分

【表参道駅から】

- ◆ 東京メトロ(銀座線、半蔵門線、千代田線) B1 出口から徒歩約 12 分



* 青山通りではなく六本木通りに出てください。

<参加・研究報告申し込み要領>

大会へ参加される方・研究報告を希望される方は、下記 QR コードもしくは URL の申し込みフォームからご回答下さい。(締切:10月10日)

<https://forms.gle/Kt6cganKRy6GsoLG9>



なお第二報(10月下旬予定)は日本観光学会ホームページに掲載するとともに、「参加」のお返事をいただいた方にメールにてご連絡いたします。

※メールアドレスが未登録の方、変更された方は至急、本部事務局 nihon@kankoga.or.jp までご連絡ください。

<研究報告の要旨作成要領>

(1) 要旨集掲載用原稿ファイルの提出

研究報告の希望者は必ず上記の申し込みフォームに回答するとともに、2023年10月15日までに大会専用 E-mail アドレス(conference@kankoga.or.jp)に Word ファイルで作成した「要旨集掲載用原稿(下記の書式を厳守)」を添付して実行委員会事務局までご提出ください。

件名は「116 回日本観光学会報告要旨(氏名)」とし、メール本文に連絡がすぐにとれる携帯電話番号を必ず明記してください。

報告要旨の受付後に受領メールを実行委員会からお送りいたしますが、ご提出後 1 週間以上過ぎても受領メールが届かない場合には問い合わせのメールをお願いいたします。

なお、共通論題は 11 月 4 日(土)午前中、自由論題は 11 月 5 日(日)午前・午後を予定していますが、報告申し込み状況によっては変更することがあります。そのため、報告日時の指定は承れませんので、ご了承ください。

※ 研究報告時間は、報告者 20 分、質疑応答 10 分、合計 30 分です。

※ 申し込み多数の場合には調整をさせていただく場合があります。

(2) 要旨集掲載用原稿の書式

要旨集掲載用原稿は次の要領で作成してください。要旨集掲載用原稿のテンプレートはホームページ上にアップいたしますが、ご自分で作成される場合は、下記の要領をお願いいたします。

☆図表を含めて A4 縦・横書き 2 枚(1 ページ当たり 40 字×40 行を目安に、上下左右 2cm の余白、1 段組み)厳守のこと。

☆標準的な構成は、1 枚目の 1 行目にタイトル、2 行目に氏名(所属名)、3 行目に 3~5 語のキーワード、本文は 4 行目以降に各節ごとにわかりやすい見出しをつけて書き、最後に主要な参考文献を記載してください。タイトルのみ 14 ポイント、他は 10.5 ポイントのフォントサイズとし、明朝体を基本としてください。サブタイトルの付加などのアレンジはかまいませんが、2 枚の上限を厳守してください。

☆ Windows 版 Word で作成してください。

原則としてそのまま印刷製本いたしますが、レイアウトを統一するため書式に修正を加える場合があります。

<宿泊について>

渋谷駅をはじめとして都区内には多数ホテルがございますので、各自でご手配をお願いいたします。なお、インバウンドが回復してきていますので、お早めの予約をお勧めいたします。

<大会実行委員会>

実行委員長：角本伸晃(実践女子大学)

実行委員：大江靖雄(東京農業大学)、神頭広好(愛知大学)

長橋透(青山学院大学)、野呂純一(学習院大学)、

藤井 孝宗(高崎経済大学)、有賀敏典(千葉大学)

東徹(立教大学)、麻生憲一(帝京大学)

吉田雅彦(実践女子大学)、井上綾野(実践女子大学)

以 上